

## 身体運動文化フォーラム第3号発刊にあたり

関西大学身体運動文化学会

会長 溝畑 寛治

(身体運動文化専修代表)

関西大学文学部では、2004年に「現代的スポーツ文化」「伝承的身体運動文化」「生活的健康福祉文化」を通して21世紀社会にふさわしい文武両道に長けた総合型人間関係が構築できる学生の育成を目指して「身体運動文化専修」が設置されました。早いもので今年、この専修で学んだ学生達が完成年度を迎え初めて社会に巣立っていきます。「身体運動文化専修」で学んだ人間総合力を基に実社会において大いに活躍されることを期待する次第であります。本誌には、この専修で学んだ学生達が取り組んだ卒業論文の抄録と優秀論文2点を掲載しています。また時同じくして、本年は永年本学の体育教育に携わってこられた川本武之教授が定年退職を迎えられる年ともなりました。本誌は川本教授の退職記念号としても発刊させて頂いています。

川本武之教授は、昭和38年4月1日に文学部助手として着任され、その後、専任講師、助教授を経て、教授に昇格され、平成14年に「65歳」の定年に到達され、延長を経て、今日まで45年間の長きにわたって教育・研究に専念されてこられました。同氏は、教育面において、全国的なモデルカリキュラムになった本学の「基礎体育学」「スポーツ研究」「応用体育学」「スポーツ研究フィールドワーク」などの実践研究に基づく授業担当をとおして着実な教育成果をあげてこられました。また研究面では専攻の健康教育・体育方法学をはじめ、主に専門種目であるサッカーを中心とする実技分野の実践研究においても精力的に取り組まれ堅実な実績を蓄積し関係筋に高く評価されています。これまでの在職期間中に、教室人事委員、保健体育主事、体育施設運営協議委員会委員長などに従事されるとともに、課外教育活動においても本学体育会サッカー部の監督や副顧問などとして指導され多くの選手育成と実践研究フィールドワーク面で顕著な業績を残されています。さらに社会的活動面において、吹田市社会教育委員や少年サッカースクール指導員（ボランティア）などを務められ研究成果の社会への還元という側面においても幅広く貢献されてきました。平成17年度には、教室内の自己点検・評価委員の代表として報告書の作成に尽力され、全国大学体育連合からF・D推進校に選ばれる原動力となるなど専修の運営において尽力くださいました。大変残念な事ではありますが、今後も何かとご指導、ご支援下さいますようお願い致しますと共に、先生がいつまでもお元気で活躍下さいますことをお祈りいたしましてお別れの挨拶とさせていただきます。